

RFMD ニュース

会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.  
Irma Swain, Communications Manager  
7628 Thorndike Road  
Greensboro, NC 27409-9421, USA  
電話: +1 (336) 931-6653  
iswain@rfmd.com



rfmd.com

## RFMD 社、IC 内蔵の RF シールド技術「MicroShield™」を導入

POLARIS® 3 TOTAL RADIO™に マイクロシールド技術を採用

スペイン／バルセロナ、2008 年 2 月 19 日:高性能な無線システム／ソリューションの設計、製造で世界をリードする RFMD 社(ナスダック GS:RFMD)は本日、同社が特許出願中の IC 内蔵高周波シールド技術である「マイクロシールド技術」の導入を発表した。IC 内部でシールドを行う同社の技術「MicroShield」技術は、RFIC や RF モジュールに高周波(RF)のシールドを内蔵させることにより、大きくコストのかかる外部のシールド構造を不要にするもの。RFMD 社のマイクロシールドを用いた場合、これにより RF 部分に対する高さと容積の要件がそれぞれ 25%と 50%も緩和され、同時に顧客に対し基板上の配置による影響を受けない部品を供給できることになる。

RF シールドにより電磁干渉(EMI)や無線周波妨害(RFI)に関する放射も軽減され、また外部の電磁界による影響も極小になる。従来の高周波シールドでは回路基板上の RF 部分を囲い込んでシールドする金属ケースが使われてきたが、RF 系のシールドに使う金属ケースは個々の回路基板に合わせたカスタム設計が必要なため、RF シールドの実装には多くの費用と時間がかかっていた。さらに、外付け RF シールドのため RF 部分のスペースが余分に必要となり、シールド内部の RF 回路の性能の低下というより大きな問題も起こりうる。またこの性能低下は、外付けシールドの影響を補償するための時間のかかる再調整プロセスを必要とさせてしまう。

RFMD 社の「MicroShield」内蔵 RF シールドは外部電磁界への暴露を最小化し、ホストデバイスの必要部分以外へのエネルギーリークを防止することで EMI や RFI の影響を軽減する。このマイクロシールド技術は、基板上の配置に対する感受性の解消で、回路の再チューニングのリスクも回避するため、携帯端末の開発期間を短縮すると同時に RF 系の実装コストを低減する。

携帯端末の場合、携帯端末の設計者やメーカーはますますその開発期間とコスト上の要件を満足するプラットフォームへの依存度を高めているため、基板上の配置の影響が非常に重要な要素となる。しかし、これらプラットフォームを使って個々の端末を設計する場合、EMI や RFI の放射が主な問題となって本来の性能が発揮されない場合がある。RFMD 社のマイクロシールド技術の利用で、端末メーカーは非常に複雑な RF モジュールを EMI/RFI に対する感受性のない通常の部品と同様に配置することが可能になり、基板設計やレイアウト変更に強い真の「プラグアンドプレイ」ソリューションが実現する。

マイクロシールド技術を採用する端末メーカーは RF 性能の向上やトータル・コストの低減、基板上の省スペース化が可能で、同時に RF 系の実装が全体として非常に容易になる。RFMD 社の内蔵 RF

シールド技術「MicroShield」はオーバーモールドパッケージ技術を使うすべての製品に適用可能で、その最初の製品が RFMD 社の POLARIS™ 3 TOTAL RADIO™ソリューションとなる。

**RFMD 社について:**RF マイクロデバイセス社 (NASDAQ GS RFMD)は、無線通信／ブロードバンド通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム／ソリューションを設計、製造する業界リーダー。RFMD 社の携帯電話用フロントエンド、携帯電話用トランシーバ、システムオンチップ(SOC)ソリューションは携帯端末、携帯電話基地局、無線 LAN(WLAN)、CATV ネットワーク、航空宇宙、防衛、GPS 等の市場で活用され、その最先端の機能をサポートして通信能力を強化し、世界全体のモビリティを向上させている。幅広い分野の最新半導体技術と RF システムの専門技術で知られる RFMD 社は、移動通信機器や RF システムを手がける世界中の一流メーカーから最も信頼されている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置く RFMD 社は ISO 9001 および ISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD 社は RFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報は RFMD 社のホームページ、[www.rfmd.com](http://www.rfmd.com) に紹介されている。

このプレスリリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウエハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES®、RFMD®、PowerStar®、POLARIS™ TOTAL RADIO™、および MicroShield™内蔵 RF シールド(特許出願中)は RFMD, LLC の商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。